

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月24日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	生活環境対策事業		コード	11212	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	
	作成者	小口 智徳			
3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政策	環境保全の推進	施策	生活環境対策の推進
		予算科目	生活環境対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	なし
		根拠法令	振動規制法 騒音規制法 岡谷市公害防止条例 等		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	自動車騒音常時監視測定業務、不法投棄物のパトロール、公害苦情への対応、河川水質調査、地下水調査を行い、市民生活の環境を維持改善する。	
目的	対象者	市民
	意図	市民の生活環境が、自動車騒音や不法投棄などにより、汚染されないよう、より良い環境の下で生活が送れるようにする。

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
○生活環境苦情処理	・騒音、振動等の届出の受理や、振動、騒音、悪臭等の苦情への対応をした。	
○不法投棄への対応	・庁内関係課や警察等と連携し、投棄者の調査や回収を行うとともに、看板設置、パトロールを行った。	
○自動車騒音常時監視	・国土交通省の道路センサスに従い、1路線3センサスの測量、面的評価を実施した。	
○環境モニター	・市民公募の環境モニターにより、環境保全に関する情報の収集に努めた。	
前年度の課題への対応	・不法投棄多発箇所への看板設置、油漏等の発生に伴う県等との現場検証他を実施 ・環境モニター会議の回数増	

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	2,544,217	2,750,037	2,236,139	2,687,000
経常経費	2,544,217	2,275,643	2,236,139	2,687,000
臨時的経費	0	474,394	0	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000
正規職員の人数(人)	0.55	0.55	0.55	0.55
③ 合計コスト(①+②)	6,944,217	7,150,037	6,636,139	7,087,000
前年度比		103.0%	92.8%	106.8%
財源	6,944,217	7,150,037	6,636,139	7,087,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
中央道環境対策協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	10,000	2,000	2,000	2,000
美しい環境づくり諏訪地域推進会議負担金	件数	1	1	1	1
	金額	20,000	20,000	20,000	20,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	30,000	22,000	22,000	22,000
	割合	1.18%	0.80%	0.98%	0.82%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低濃度PCB廃棄物処理（令和9年3月31日までに） ・生活環境苦情、不法投棄の抑制
	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低濃度PCB廃棄物処理に向け、処分に対する補助等の調査を行う ・生活環境苦情、不法投棄の抑制に向けた啓発活動を行う
改善方法	
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	---	---